



報 告 書



- 期 間 2016年8月4日（木）～ 8月7日（日）
- 会 場 板橋区立グリーンホール
国立オリンピック記念青少年総合センター
板橋区教育支援センター
- 主 催 認定 NPO 法人きらめき未来塾

きらめき未来塾 2016 カリキュラム

日程	場所	時間	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00												
8/4 (木)	板橋区立 クリーンホール	from to	11:30 ～12:45 (75分)	集合 1組: 東武駅130集合、バスで移動中にオリエンテーション 2組: 板橋区立グリーンホール130集合、ホール内でオリエンテーション	13:00 ～13:30 (30分)	入塾式 下田部長、板橋区長の教育長のご挨拶	13:40 ～14:50 (70分)	未知の扉に遭遇した時 開成学園 校長: 柳沢重雄先生	15:00 ～16:10 (70分)	分身ロボット 2 (株)オリイ研究所 代表取締役所長: 吉藤樹太郎氏	16:20 ～17:30 (70分)	僕らの一歩が日本を変える 3 NPO法人僕らの一歩が日本を変える 創設者: 青木大和氏、代表理事: 後藤重勝氏	17:40 ～19:00 (80分)	夕食後、移動 代々木青少年センターにバス移動	19:00 ～19:40 (40分)	チェックイン	19:50 ～21:00 (70分)	チームビルディング スタッフ											
			13:00 ～14:10 (70分)	君が未来をつくるために必要なこと～研究者思考で考えないものを振り出す～ 5 リハリス CEO: 丸善弘氏	14:20 ～15:30 (70分)	強い人間になろう～自分に負けない 6 きらめき未来塾 理事長 水野 明一氏	15:40 ～16:30 (50分)	チームミーティング 7 仮説で進路を考える～学生生活の過ごし方	16:40 ～17:50 (70分)	夕食 大手総合商社 黒平智伸氏	18:00 ～18:50 (50分)	懇親会 移動 懇親会場に移動	19:00 ～21:00 (120分)	懇親会 塾生とスタッフ/関係者一同 (ハートリー形式)															
8/5 (金)	代々木オリンピック村 国際会議室	from to	6:45 ～7:30 (45分)	朝食	7:30 ～8:30 (60分)	朝食	10:00 ～11:50 (110分)	チームミーティング 8 ランスマティックチェンソとは?～ワンコイン健診の事例から	12:00 ～13:00 (60分)	昼食	13:00 ～14:10 (70分)	リハリス CEO: 丸善弘氏	14:20 ～15:30 (70分)	きらめき未来塾 理事長 水野 明一氏	15:40 ～16:30 (50分)	チームミーティング 9 複雑な社会問題と対話の力	16:40 ～17:50 (70分)	夕食 大手総合商社 黒平智伸氏	18:00 ～18:50 (50分)	懇親会 塾生とスタッフ/関係者一同 (ハートリー形式)	19:00 ～21:00 (120分)	懇親会 塾生とスタッフ/関係者一同 (ハートリー形式)							
			8:40 ～9:50 (70分)	21世紀型スキルを身につける7Pトレーニング 4 教育デザイン研究所 代表: 石田勝紀氏	9:50 ～10:20 (30分)	職業で世界をもっとワクワクに 11 セルフワンク平井由紀子氏 高校生の起業家仲間たち様	10:30 ～11:50 (80分)	トランスフォーマー: 歴史や歴史を超えるために 12 筑波大学 学長: 永田義介氏	11:50 ～13:10 (80分)	昼食を2交代番で使用	13:10 ～13:50 (40分)	発表準備	13:50 ～14:00 (10分)	発表会、発表式	14:00 ～16:00 (120分)	発表会、発表式	16:20 ～17:00 (40分)	東京駅までバス移動 東京駅にて解散 駅内: 地下の人は板橋区役所で解散可)	17:00 ～19:00 (120分)	夕食	18:50 ～19:40 (50分)	夕食	19:50 ～21:00 (70分)	チームミーティング (発表練習)	スタッフ				
8/6 (土)	代々木オリンピック村 クレシェンション ホール	from to	6:45 ～7:50 (65分)	体操と合唱 朝食	7:50 ～8:50 (60分)	朝食	10:00 ～11:50 (110分)	ランスマティックチェンソとは?～ワンコイン健診の事例から 8 クマヒラセキョリチ樹田麻里美香氏 ケアフロ株式会社: 川原高志氏	12:00 ～13:00 (60分)	昼食	13:00 ～15:00 (120分)	わかりやすいプロジェクト 代表: 石橋智氏、学生さん	15:10 ～16:30 (80分)	日本の伝統文化 ～歌舞伎 10 日本芸術文化振興委 織田麻二氏	16:40 ～17:30 (50分)	チームミーティング スタッフ	17:40 ～18:40 (60分)	夕食	18:50 ～21:00 (130分)	チームミーティング (発表練習)	スタッフ								
			8:50 ～9:50 (60分)	職業で世界をもっとワクワクに 11 セルフワンク平井由紀子氏 高校生の起業家仲間たち様	10:30 ～11:50 (80分)	トランスフォーマー: 歴史や歴史を超えるために 12 筑波大学 学長: 永田義介氏	11:50 ～13:10 (80分)	昼食を2交代番で使用	13:10 ～13:50 (40分)	発表準備	13:50 ～14:00 (10分)	発表会、発表式	14:00 ～16:00 (120分)	発表会、発表式	16:20 ～17:00 (40分)	東京駅までバス移動 東京駅にて解散 駅内: 地下の人は板橋区役所で解散可)	17:00 ～19:00 (120分)	夕食	18:50 ～19:40 (50分)	夕食	19:50 ～21:00 (70分)	チームミーティング (発表練習)	スタッフ						
8/7 (日)	板橋区教育支援センター	from to	6:45 ～7:30 (45分)	体操	7:30 ～8:50 (80分)	朝食	10:30 ～11:50 (80分)	トランスフォーマー: 歴史や歴史を超えるために 12 筑波大学 学長: 永田義介氏	11:50 ～13:10 (80分)	昼食を2交代番で使用	13:10 ～13:50 (40分)	発表準備	13:50 ～14:00 (10分)	発表会、発表式	14:00 ～16:00 (120分)	発表会、発表式	16:20 ～17:00 (40分)	東京駅までバス移動 東京駅にて解散 駅内: 地下の人は板橋区役所で解散可)	17:00 ～19:00 (120分)	夕食	18:50 ～19:40 (50分)	夕食	19:50 ～21:00 (70分)	チームミーティング (発表練習)	スタッフ				
			8:50 ～9:50 (60分)	職業で世界をもっとワクワクに 11 セルフワンク平井由紀子氏 高校生の起業家仲間たち様	10:30 ～11:50 (80分)	トランスフォーマー: 歴史や歴史を超えるために 12 筑波大学 学長: 永田義介氏	11:50 ～13:10 (80分)	昼食を2交代番で使用	13:10 ～13:50 (40分)	発表準備	13:50 ～14:00 (10分)	発表会、発表式	14:00 ～16:00 (120分)	発表会、発表式	16:20 ～17:00 (40分)	東京駅までバス移動 東京駅にて解散 駅内: 地下の人は板橋区役所で解散可)	17:00 ～19:00 (120分)	夕食	18:50 ～19:40 (50分)	夕食	19:50 ～21:00 (70分)	チームミーティング (発表練習)	スタッフ						
日程	場所	時間	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00												

目 次

●きらめき未来塾 2016 実施のご報告（理事長挨拶）	-----	2
●塾長の挨拶	-----	3
●お礼と挨拶（名誉理事長より）	-----	4
●きらめき未来塾を東京都で開催（名誉塾長挨拶）	-----	5
●実施概要	-----	6- 8
●講義概要・塾生感想	-----	9-16
●塾生のまとめと発表	-----	17-27
●各種イベント	-----	28
●卒塾生レポート	-----	29-30
●後援・協賛のお礼	-----	31
●きらめき未来塾役員	-----	32
●事務局・サポーター	-----	33



2016

実施のご報告

きらめき未来塾 2016 は、8月4日(木)～7日(日)の4日間、東京に舞台を移して開催されました。これまでの11年(11回)は、広島、関西、名古屋で開催し、いずれは東京でと言われていたことが、今年実現しました。

そのため、事務局を東京に移して新たな体制で開催することになりました。開催に当たっては、東京都教育委員をはじめ板橋区および板橋区教育委員会、板橋倫理法人会、大竹塾などの全面的なご理解とご協力を得ることができ、68人の塾生を受け入れることができました。これにより、卒塾生の数は延べ894人になりました。

感性豊かな高校生たちが、この時期に全国から集まり、寝食を共にしながらディスカッションを繰り返して自分たちの未来を描いていくことは、彼らの人生にとって、大きなインパクトを与えたことでしょう。

入塾したときの不安そうな顔つきが、最終日に成果発表するときには打って変わって自信に満ちた顔つきになっているのを見ると、これこそが「きらめき未来塾」が求める成果だと確信を持って言えると思っております。

今回実施してみて、いろいろ改善する点も見出すことができました。私たちは、この灯を消すことなく、もっと大きな灯にして「21世紀を担うリーダー」を養成すべく努力していくつもりであります。

ここに今年度の実施報告をしますとともに、来年度以降の取組みに対して、関係の皆様のご理解とご支援を切にお願い申し上げます。

2016年9月

認定NPO法人きらめき未来塾
理事長 水野 彌一

塾長の挨拶

今年 12 回目のきらめき未来塾を開催いたしました。

今年は次のような 2 つの点が従来の未来塾と違っていましたが、それを乗り越えて開催できたことは、多くの皆様のご支援があったからこそとお礼申し上げます。

1. 開催地が東京に移って初めての開催となったこと。
2. 開催場所が毎日変わり、塾生は毎日移動する環境の中で学ぶことになったこと。
そのためにスケジュールが非常にタイトになったこと。

とりわけ織田事務総長はじめ、事務局の宮原さん、櫻井さんたちの奮闘ぶりには頭の下がる思いでした。この方たちがいなかったら、おそらく大きなトラブルに発展していたかもしれません。この場をお借りして心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。

私は、塾長として毎日参加してつぶさに塾生の動きを観察することができました。彼らはさすがに学校から推薦してもらって参加するだけのことはありました。

毎日の講義にも、またチームミーティングにも積極的に参加し、自分の意見をしっかりと発言しており、最後の発表においても、きちんと纏め上げて自信をもって発表していました。

初日は不安そうにしていた塾生の表情が、4 日目には自信に満ちた顔つきになり、堂々と自分の意見を述べるまでになりました。

これこそが、私たちがきらめき未来塾で育成したい姿だと確信をもつことができました。彼らはこの 4 日間、多くのことを学んだと思っています。

それは 12 人の講師からだけではありません。同じ釜の飯を食べて、分け隔てなくディスカッションできた、ここに集った 68 人の仲間たちから多くの刺激を受けて帰路についたと思います。

私たちはこのきらめき未来塾の灯を絶やすことなく、もっと大きなものにして、輝かせるようにしなければならぬと思っています。

そのためにも、多くの皆様のご理解とご支援を切にお願い申し上げます。

2016 年 9 月

認定 NPO 法人きらめき未来塾
塾長 下垣 真希

お礼と挨拶

きらめき未来塾 2016in 東京が、皆様のご協力により充実したものとして行われましたことをお慶び申し上げます。

きらめき未来塾としては初めての東京での開催に備えて、新たに東京事務所を開設して設営に当たったのでありますが、作業手順の配分、責任分担、行政その他諸団体との折衝、開催施設、宿泊施設、講師の手配、塾生の募集など数多くのご苦勞があったようであります。

しかし、東京在住の理事、役員、事務所関係者の大変なご努力と、さらにまた開催地板橋区の坂本健区長様、中川修一教育長様、松田康将都議会議員様、鈴木静雄様をはじめとする地元の皆様方の献身的なご協力を頂戴して無事に開催できたことに心から感謝申し上げます。

さらに例年のごとく数多くのボランティアのご協力をいただき、本塾設立の主旨にかかわることとは申しながら、その活躍ぶりには多大な感銘を受けました。

東京での開催は、多彩な講師の依頼が可能、交通の便の良さなど多くの利点が予想されておりましたが、実際の参加者すなわち塾生、塾生の保護者、塾運営に携わった全ての人々の忌憚のない意見を集約されて、次回以降の開催に結び付けていくことを期待しております。

未来の日本を担う若人の育成という善意の灯がさらに未永く継続していくことを願っております。

2016年9月

名誉理事長 齋藤 洋一

きらめき未来塾を東京都で開催

今年も「きらめき未来塾」の季節がやってきました。この時期になると、私はいつもそわそわしている自分に気づきます。今年はどうな生徒が、どこから集まって、日本と自分たちの未来について熱く語り合ってくれるのか興味をもって見ているからです。

私が2005年に郷里の広島県庄原市で各界の皆様呼びかけて創設した、「次世代を担う高校生のための未来塾」は、その後近畿地方で大きく飛躍し、いずれは東京で開催したいと思っておりました。

今年開催地を選ぶに当たっては、板橋区および板橋区教育委員会、板橋区倫理法人会、板橋大竹塾をはじめ全国各地の教育委員会や学校長、その他多くの団体の皆さまにも多大なご理解とご協力を賜り実現することができました。改めて厚くお礼申し上げます。

また、開催期間中ご多忙のところ駆けつけていただいて、塾生のためにアクティブラーニングを教育界に導入したいきさつや激励をしていただいた元文部科学大臣・下村博文氏や事務局アドバイザーとしてご尽力賜った未来教育会議代表の熊平美香様にも心より感謝申し上げます。

但し、今年会場が板橋と代々木という2箇所に分かれたため、大都市の中での移動という問題に直面しました。そのため、スケジュールが遅れ気味となり、講師や塾生の皆さんに大変ご迷惑をかけることになりました。

それでも今年塾が成功裏に終わったのは、事務局はじめ関係の皆様の方ならぬご努力とご支援があったのと深く感謝しております。

今後開催するきらめき未来塾では、その教訓を活かして、塾生が心身ともにさらに大きく成長して、この国の未来を築くことに貢献する人材として巣立っていけるよう支援して参りたいと思います。

2016年9月

創立理事・名誉塾長 大竹 美喜

実施概要

「きらめき未来塾 2016」は、以下の要領により実施されました。

1. 開催期間 : 2016年8月4日(木)～7日(日)(3泊4日)
2. 開催場所 : 8月4日: 板橋区立グリーンホール
(東京都板橋区栄町36-1)
8月5日: 国立オリンピック記念青少年総合センター
(東京都渋谷区代々木神園町3-1)
8月6日: 上記に同じ
8月7日: 板橋区教育支援センター
(東京都板橋区板橋2-66-1)
3. 宿泊先 : 国立オリンピック記念青少年総合センター
4. 参加人数 : 全国の公立・私立の高校48校から68人が参加
(高校名は7ページ参照)

	1年生	2年生	3年生(注)	計
男	17人	16人	3人	36人
女	11人	20人	1人	32人
計	28人	36人	4人	68人

(注)通信制高校生1人(男)を含む。

	参加高校数	参加人数
公立	21校	30人
私立	27校	38人
計	48校	68人

高校名リスト

No.	所在地	高校名
1	岩手県	岩手県立盛岡農業高等学校
2	宮城県	宮城県立仙台二華高等学校
3	宮城県	宮城県立石巻高等学校
4	千葉県	船橋市立船橋商業高等学校
5	千葉県	千葉県立安房高等学校
6	千葉県	私立千葉商科大学付属高等学校
7	千葉県	私立市川高等学校
8	東京都	東京都立北豊島工業高等学校
9	東京都	東京都立大山高等学校
10	東京都	東京都立赤羽商業高等学校
11	東京都	東京都立板橋高等学校
12	東京都	東京都立高島高等学校
13	東京都	昭和女子大学附属昭和高等学校
14	東京都	私立目黒学院高等学校
15	東京都	私立明法高等学校
16	東京都	私立富士見丘高等学校
17	東京都	私立品川女子学院高等部
18	東京都	私立日大櫻丘高等学校
19	東京都	私立東洋高等学校
20	東京都	私立帝京高等学校
21	東京都	私立中央大学杉並高等学校
22	東京都	私立大東文化大学第一高等学校
23	東京都	私立成城高等学校
24	東京都	私立城北高等学校
25	東京都	私立淑徳高等学校
26	東京都	私立安田学園高等学校
27	東京都	私立昭和女子大学付属昭和高等学校
28	神奈川県	私立横浜隼人高等学校
29	新潟県	新潟県立高田高等学校
30	新潟県	新潟県立荒井高等学校
31	長野県	都市大学塩尻高等学校
32	静岡県	私立加藤学園暁秀高等学校
33	愛知県	私立海陽高等学校
34	京都府	私立京都共栄学園高等学校
35	京都府	京都市立堀川高等学校
36	京都府	京都市立西京高等学校
37	大阪府	大阪府立池田高等学校
38	大阪府	大阪府立千里高等学校
39	大阪府	大阪府立四条畷高等学校
40	大阪府	大阪市立明星高等学校
41	大阪府	私立東大谷高等学校
42	大阪府	私立清風高等学校
43	大阪府	関西学院大学千里国際学園
44	広島県	私立修道高等学校
45	広島県	広島市立舟入高等学校
46	広島県	広島市立基町高等学校
47	広島県	広島県立庄原実業高等学校
48	福岡県	私立福岡海星女子学院

5. カリキュラム（講義テーマ・講師）

テーマ	講師	役職・経歴
未知の病に遭遇したとき	柳澤 幸雄	学校法人開成学園校長 東京大学名誉教授
分身ロボット	吉藤 健太郎	株式会社オリィ研究所 代表取締役所長
僕らの一歩が日本を変える	青木 大和 後藤 寛勝	NPO 僕らの一歩が日本を変える 創設者 " 代表理事
21世紀型スキルを身につける アクティブラーニング	石田 勝紀	教育デザイン研究所 代表
研究者が世界を変える方法	丸 幸弘	株式会社リバネス CEO
強い人間になろうー自分に負けない	水野 彌一	きらめき未来塾 理事長 京都大学アメリカンフットボール部前監督
仮説で進路を考える ～学生生活の過ごし方	熊平 智伸	慶應大学経済学部からブラウン大学国際関係学部 に編入。現在、大手総合商社の金融部門勤務。
システムティックチェンジとは？	熊平 美香 川添 高志	一般財団法人クマヒラセキュリティ財団 代表理事 ケアプロ株式会社 代表
複雑な社会問題と対話の力	石橋 哲	わかりやすいプロジェクト 代表
日本の伝統文化ー歌舞伎	織田 紘二	独立行政法人日本芸術文化振興会（国立劇場）顧問
農業で世界をもっとワクワクに	平井 由紀子 松岡 奈々	株式会社セルフウィング 代表取締役社長 ビジネス・ブレイクスルー大学 経営学部1年
トランスポーダー：壁や境界を超えるために	永田 恭介	国立大学法人筑波大学 学長

講義概要・塾生感想

柳澤 幸雄 やなぎさわ ゆきお 講師

1. 講師

1947年生まれ。開成高校、東大工学部化学工学科を卒業。東大大学院で大気汚染を研究し、博士号取得。東大助手を経て、ハーバード大学公衆衛生大学院助教授、准教授、併任教授。1999年東京大学大学院・環境システム学専攻・教授、2012年東京大学名誉教授、2011年より開成高等学校・中学校校長。



2. 講義概要

水俣病発生時の関係者の対応をベースにおいて、仮想ケーススタディを教材に、双方向型の講義を展開する。ランダムに生徒を指名して質問を行う仮想事例を通じて、自己の判断力を形成する。

3. 塾生の感想

未知の病に遭遇するときには、医師も病名などが分からず、周囲の人々も、その患者を避けるようになるから怖いと思った。自分が未知の病に罹らないとはいえないから、そのときは、今回の経験から色々判断していきたい。

吉藤 健太郎 よしふじ けんたろう 講師

1. 講師

奈良県葛城市出身。小学5年～中学3年まで不登校。奈良県立王寺工業高校にてもものづくりの巨匠、久保田憲司師匠に師事、行った電動車椅子の新機構の発明により、国内最大の科学コンテストJSECにて文部科学大臣賞、ならびに世界最大の科学コンテストISEFにてGrand Award 3rdを受賞、その後寄せられた多くの相談と自身の療養経験から、孤独の解消を志す。高専にて人工知能を研究した後、早稲田大学にて2009年から孤独解消を目的とした分身ロボットの研究開発を独自のアプローチで取り組み、自分の研究室を立ち上げ、2012年株式会社オリィ研究所を設立、代表取締役所長。



2. 講義概要

OriHimeは、孤独を感じる人が、自分の分身として親しい人と一緒にその場にいる感覚を共有できるロボットだ。吉藤さん自身が少年時代に不登校で孤独と直面した経験をもつ。このOriHimeを福祉や医療の現場に託したいという夢を熱く語られる。

3. 塾生の感想

最初、吉藤さんを見たときは、crazyな方だと感じた。しかし、徐々に経歴や人となりを聞くと、目標が明確で壁をとっばらった生き方に興味を覚えた。自身の経験から孤独や障がい者の問題に着目し、解決にロボットを使ったところが素晴らしいと思った。

青木 大和 あおき やまと 講師

1. 講師

慶應義塾大学法学部政治学科在学中。

1994年03月09日、東京都生まれ。15歳にて単身渡米。米国の社会活動へ参加する中でオバマ大統領誕生を目の当たりにする。日本と米国の若者の社会参加、政治参加の差を実感し、帰国後2012年「僕らの一歩が日本を変える。」を創設。「高校生100人×国会議員」、「未成年模擬選挙」「全国行脚」などの数多くの仕掛けを行った。2014年に同団体をNPO法人化し、2014年秋に代表理事を辞任。2015年より世界各地を渡りながら現地の社会運動、若者の動向などを肌で感じる。



後藤 寛勝 ごとう ひろかつ 講師

1994年、新潟市生まれ。中央大学経済学部在籍。高校時代はボート競技で全国大会出場。上京と同時に、同団体にて18歳から若者と政治家がつながる機会と場づくりを行う活動を始める。昨年より、新事業として「票育」を開始。今年度は、「票育」を地域の担い手を育む仕組みとして3つの地方自治体で事業化を果たした。現在も、NPO法人の代表として全国各地に足を運び活動中。昨年10月、内閣府地方創生推進室／内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 RESAS 専門委員に就任。18歳選挙権に関連し、TV、ラジオ、新聞、雑誌などへの掲載実績多数。著書『18歳からの選択』（2016年6月30日/フィルムアート社）HP: <http://boku1.org>



2. 講義概要

選挙年齢が18歳に引き下げられたのを機会に、若者の政治意識を高めようとして、ゲーム形式の「育票」を行う。政治を「人気」と「実績」の2つで構成し、サイコロを振って点数を変動させ、その合計点を競わせる。

3. 塾生の感想

CANVASというゲームも楽しかったですが、私は「票育」という言葉にも興味をもちました。私はまだ15歳ですが、政治に興味をもっていきたいと思います。

石田 勝紀 いしだ かつのり 講師

1. 講師

横浜出身。20歳で起業し、学習塾を創業。東京の私立中高一貫校の元常務理事。経営学修士（MBA）、教育学修士。東洋経済オンラインライター。アクティブラーニングについて全国で教員研修を行っている。教育デザイン研究所 代表、緑進学院 代表取締役。



2. 講義概要

塾生たちが社会に出るときに、社会はどうなっているか。そのためにどのようなスキルを身につければよいかを2つのキーワード（Logical WordとCreative Word）で説明する。

3. 塾生の感想

将来の日本は人工知能が発達する。そのためには創造力が大切で、アクティブラーニングをして、それを活性化したいと思った。人間にしかできないことをやれるようにしたいと思った。

丸 幸弘 まる ゆきひろ 講師

1. 講師

1978年神奈川県生まれ。東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了。大学院在学中の2002年に、若手研究者15人で「科学技術の発展と地球貢献を実現する」を企業理念とした株式会社リバナスを設立。同社、代表取締役CEO。



2. 講義概要

世界の変化はどんどん加速する。そのなかで誰もやったことがないこと、他人と違うことに挑戦するのが研究者だ。また世界を変えるためには仲間が必要だ。仲間が集まれば「ただの勘違い」も世界を変える「勘違いする力」になるとして、いろいろな研究に従事するグループを紹介する。

3. 塾生の感想

研究者の考え方というものにとっても興味をもちました。教えていただいたQPMIサイクルの考え方を忘れずに、常に挑戦していきたいと思います。また、仲間の大切さも学びました。

熊平 智伸 くまひら とも のぶ 講師

1. 講師

桐蔭学園高校卒業後、慶應大学経済学部へ進学。大学1年生の秋に留学を決意して自主退学、アイビーリーグの1校ブラウン大学に編入。国際関係学部を優等で卒業し、卒業論文は最優秀論文賞に選出。現在は、総合商社の金融部門で新規事業に取り組む。



2. 講義概要

自分が通ってきたキャリアのなかから、若者たちにどのような考え方で学生生活を過ごすかについてアドバイス。特に留学したブラウン大学での体験を語り、塾生たちとの質疑応答を行う。

3. 塾生の感想

将来の夢に向けて新しい環境に飛び込み、そこで全力で取り組もうと思いました。そのために、海外に出て色々体験することで自分の考えを変えるきっかけになればと思っています。

熊平 美香 くまひら みか 講師

1. 講師

ハーバード大学経営大学院でMBAを取得。社会起業家育成、学校教育の格差是正、女性の起業とキャリアアップの支援など教育と人材育成の幅広い分野でイノベーション活動に取り組んでいる。昭和女子大学キャリアカレッジ学院長、Teach For Japan 理事、AFS 日本協会理事長、未来教育会議代表、21世紀学び研究所代表。



川添 高志 かわぞえ たかし 講師

2005年慶応義塾大学看護医療学部卒業、看護師・保健師。経営コンサルティング会社、東京大学病院を経て、2007年ケアプロ株式会社を創業。2013年アショカフェローに選出される。



2. 講義概要

社会起業家はシステムティック・チェンジを起こす人だと紹介した上で、ワンコイン健康診断の事例をその文脈で説明する。そのうえで、塾生に対して「皆さんが実現したいシステムティック・チェンジは何ですか？」とグループワークを行う。

3. 塾生の感想

様々な人が思っていた、速く、安く、便利なワンコイン健診を実現させた仕組みを細かく説明していただき、自分の人生にもシステムティック・チェンジが適用できると確信した。自分たちの時代だからこそいろいろなことができることにも気づかされた。

石橋 哲 いしばし さとし 講師

1. 講師

1987年東大法学部卒。内外金融機関・産業再生機構を経て、07年以降は組織再構築支援に従事。2011年国会事故調に参加。同最終後「わかりやすいプロジェクト」を有志メンバーと創設。同代表。



高橋 侑也 たかはし ゆうや 講師

高校1年より「わかりやすいプロジェクト高校生チーム」に参加し対話の実践・イベント運営等を行う。2015年12月赤十字・赤新月社連盟総会サイドイベント登壇。
慶應義塾大学総合政策学部(SFC)1年、わかりやすいプロジェクト学生メンバー。



2. 講義概要

複雑な社会問題に対して集団で意思決定するとき、マイノリティは異端とみなされ、Group Think(集団浅慮)の過ちを犯しがちである。その一例が東電の原発事故であり、あれは人災である。複雑な社会問題に対して、他人の意見に惑わされることなく、常に自分の頭で考え、選択することが大切。

3. 塾生の感想

今回の講義を受けて、東日本大震災で問題になった福島原子力発電に対する見方が大きく変わった。例えば、原発そのものが悪いのではなく、防げた事態を防げなかったことが問題だと思う。人災にしない努力が求められる。

織田 紘二 おりた こうじ 講師

1. 講師

1945年3月1日 北海道に生まれる。1967年3月 国学院大学文学部日本文学科卒業。同年4月特殊法人国立劇場芸能部制作室に入り、以来歌舞伎及び新派の制作・演出にたずさわる。国立劇場以外での演劇・舞踊の作・演出も多い。聞き書《松緑芸話》（講談社）や《三島由紀夫芝居日記》（中央公論社）の校訂、《歌舞伎入門》（淡交社）の監修、《歌舞伎モノがたり》（淡交社）、《新版歌祭文》（白水社）《歌舞伎・家・人・芸》（淡交社）、《ぜんぶ芸の話》（淡交社）《芸と人―戦後歌舞伎の名優たち》（演劇出版社）等がある。ジャパンフェスティバル英国公演《葉武列土倭錦絵》の脚本・演出や外国での公演も多い。社団法人日本演劇協会賞（1998年）。現在 独立行政法人 日本芸術文化振興会（国立劇場）顧問。公益社団法人 日本演劇協会専務理事。公益社団法人 日本舞踊協会副会長。一般社団法人 伝統歌舞伎保存会理事。芸能学会理事。静岡県グランシップ企画委員。日本大学芸術学部非常勤講師。



2. 講義概要

歌舞伎は日本の伝統芸能である雅楽、能楽、文楽などと共に長い歴史の中で積み重ねられた重層文化であるとして、作品の分類、役割の分類、興行月区分などを解説。ユネスコの無形文化遺産に登録されて今後一層守るべき遺産となる。

3. 塾生の感想

日本の伝統文化を良く知らなかったのので、自分の国のことをしっかり学びたいと思った。歌舞伎は季節を大切にしていると知り、面白いなあと思った。また、伝統文化を守っていく必要性を感じた。

平井 由紀子 ひらい ゆきこ 講師

1. 講師

株式会社セルフウイング 代表取締役社長。起業家教育研究家。学術博士 Ph.D. (若年層から起業家教育) 一般社団法人 東京ニュービジネス協議会 理事。国立大学法人 琉球大学 客員教授 (2011年~2013年)

外資系教育事業者において、社内起業に参画し、国内外にて教育現場を視察。日本における若年層からの起業家教育の必要性を痛感し、1999年 早稲田大学大学院アジア・太平洋センターに社会人入学。2000年 大学発ベンチャーとして、株式会社セルフウイング設立。2011年 小学生からの起業家教育の有効性について研究し、博士号取得。海外の学会でも高く評価をうける。

共著:「こどもを伸ばす5つの遊び」(青春出版社)



松岡 奈々 まつおか なな 講師

BBT 大学 1 年在学。株式会社セルフウイングベトナム R&D。高校時代、伝統野菜の普及活動や地域活性化に取り組む。現在は農業で世界をもっとワクワクさせるビジネスのプラットフォームを目指し、ベトナムを拠点に持続可能な農業開発事業に挑戦している。



2. 講義概要

農家出身の松岡さんが、なぜ農業に興味をもったか、いま何をめざして(日本の農業を成長産業にしたい、ベトナムで農業を行う)活動しているかについて体験談があった。塾生と同世代という点でも関心をもたれたものと思われる。

3. 塾生の感想

今年の3月に高校を卒業してこんなに講義ができるのはすごいと思った。農業についてあまり興味がなかったが、若い人がそのようなビジネスをしようとしていることに興味をもった。

永田 恭介 ながた きょうすけ 講師

1. 講師

愛知県に生まれ、小学校は福井で、中学・高校は埼玉で過ごしました。大学に入った時には、なぜだか「教授」になることが目的でした。本を読んだり、好きなことをいつも考えていられる商売だと思っていたからです。大学院を出て、4年超米国留学し、三島（静岡）の遺伝学研究所に職を得て、次いで東京工業大学に移り、15年前に筑波大学に教授として赴任しました。そこで、考えていたのとは大いに異なる教授業を行ってきました。専門は、基礎科学としてはウイルスや細胞ゲノムの複製の分子機構の解明であり、応用科学分野ではインフルエンザウイルスの制圧を目指した研究でした。ところが、ある日突然に現職となってしまいました。



2. 講義概要

一学者として研究（分子生物学について）するなかで、いろいろな境界や壁を乗り越えてこられた体験を語られた。そのうえで、塾生に対して「人生や研究にはいろいろな境界や壁がある。アイデンティティやオリジナリティを希求するために、それを乗り越える勇気を持ってほしい」と訴えられた。

3. 塾生の感想

科学者になるには、アイデンティティを確立すること、オリジナリティをもつこと、そして自分に正直になることが大切だと学ぶ。私も科学者になって、失敗を恐れずにチャレンジし、壁を乗り越えていこうと思った。

塾生のまとめと発表

塾では4日間で12講座を受講するというハードスケジュールが組まれています。しかも高校では学ばないようなテーマばかりで、正解はありません。そのため、ともすれば、高校と同じような講義形式の講義では、板書をノートするだけに終わる可能性が高くなることが予想されました。そこで、講師の皆さんには講義の中ではできるだけ質問を受けていただき、疑問に答えることを心がけていただきました。

さらに、どれだけ理解できたかを皆でフィードバックし合える形式の「講義振り返りシート」を用意し、次の日の最初のチームミーティングで、お互いにメモにもとづいて議論し、理解の共有に努めました。

そして、その中から自分たちの興味のもてるテーマがあれば、それを最終日の発表にしてもよい、ということにしました。

さらに、チーム（6人～7人で構成）には1人のサポーターがついて、チームのディスカッションを盛り上げ、方向付けをしてもらいました。

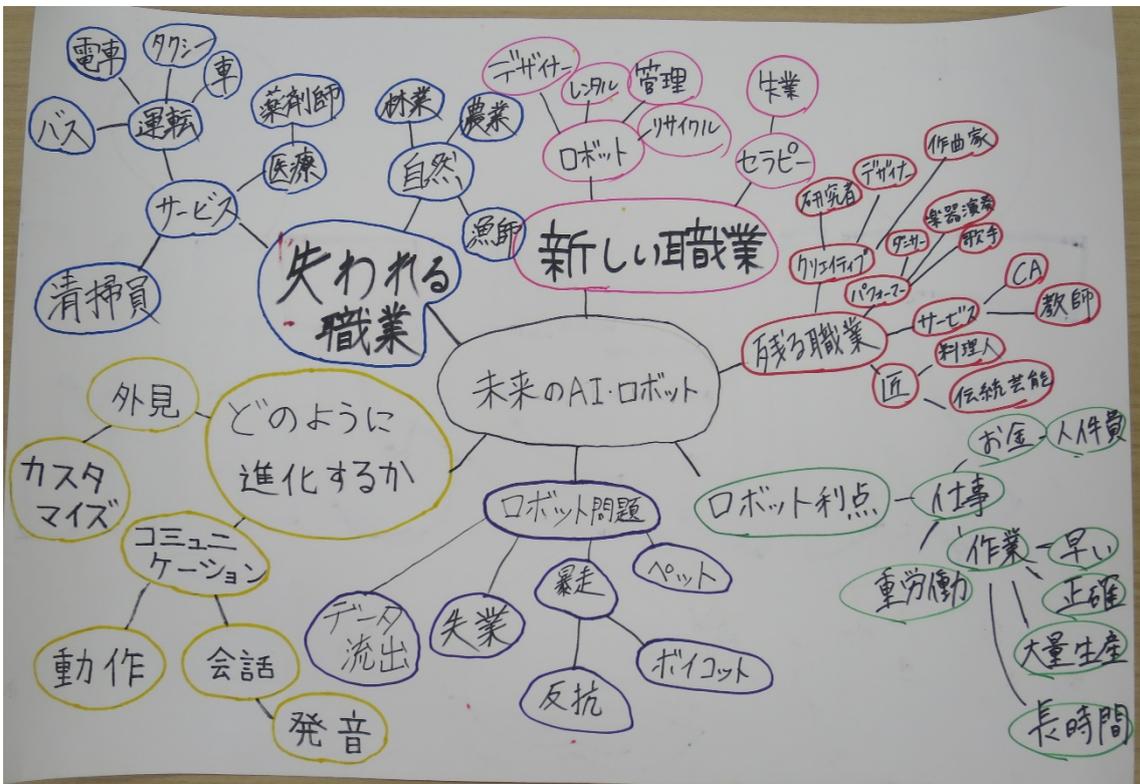
サポーターは、生徒たちが自主的にディスカッションし、自分たちの意見をまとめていく支援をするものであり、自ら教えることはしません。ファシリテート（促進する）するのが役割です。

今回のサポーターには、チームミーティングの機会を利用して、次の2つの役割を果たしてもらいました。

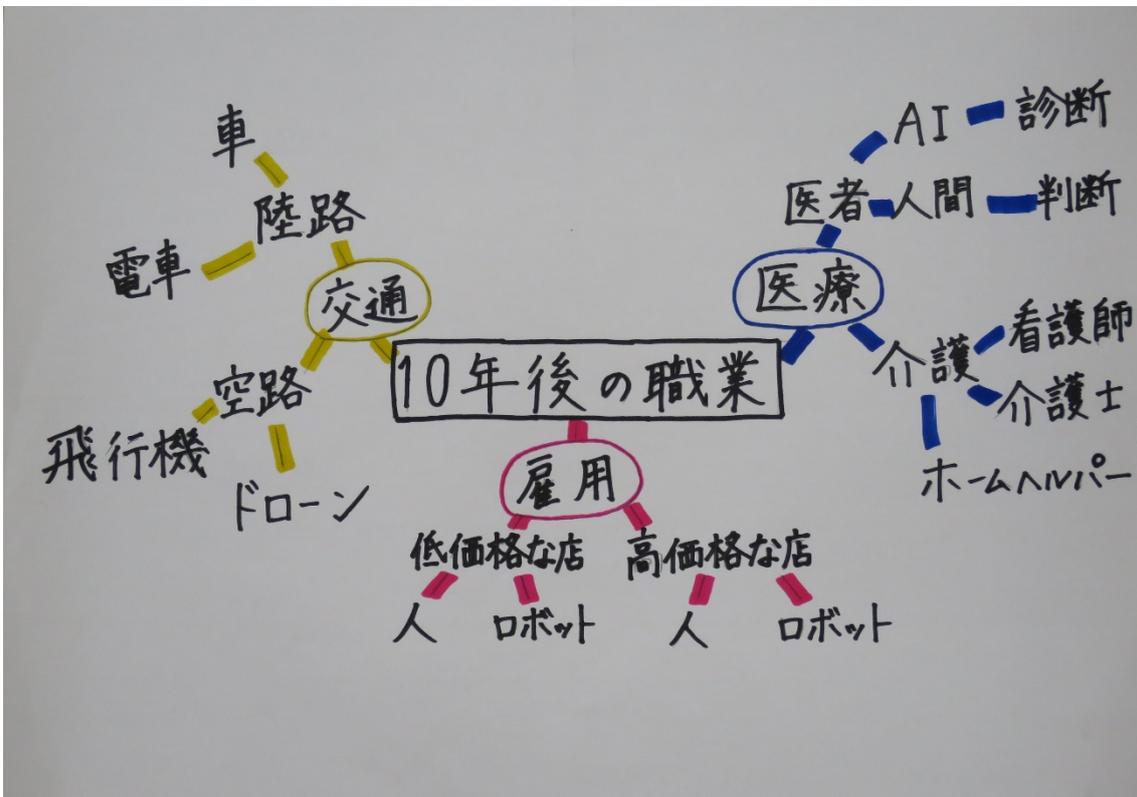
1. 毎日、日本を代表するようなオピニオンリーダーや研究者が行う講義をきちんと理解し、咀嚼するように彼らの議論を盛り上げていくこと。
そのために、「講義振り返りシート」を用意する。
2. 最終日（8月7日）に、チームで取り上げた課題について、意見をまとめ発表するよう支援すること。課題は、次の3つの中から自由に選ぶことができる。
 - （1）自分たちが就職する頃（5～10年後）にAI（ロボットを含む）はどこまで進歩するか。その結果として、
 - ① 無くなる職業
 - ② 生まれる職業を考える。
 - （2）今回の講義の中で、どの講義が面白いと思ったか？
その理由と中心テーマが社会にどう広がっていくかを考える。
 - （3）なぜ大学へ行くのか？

以下の頁に、10チームが発表の為にまとめたマインドマップを掲載しました。

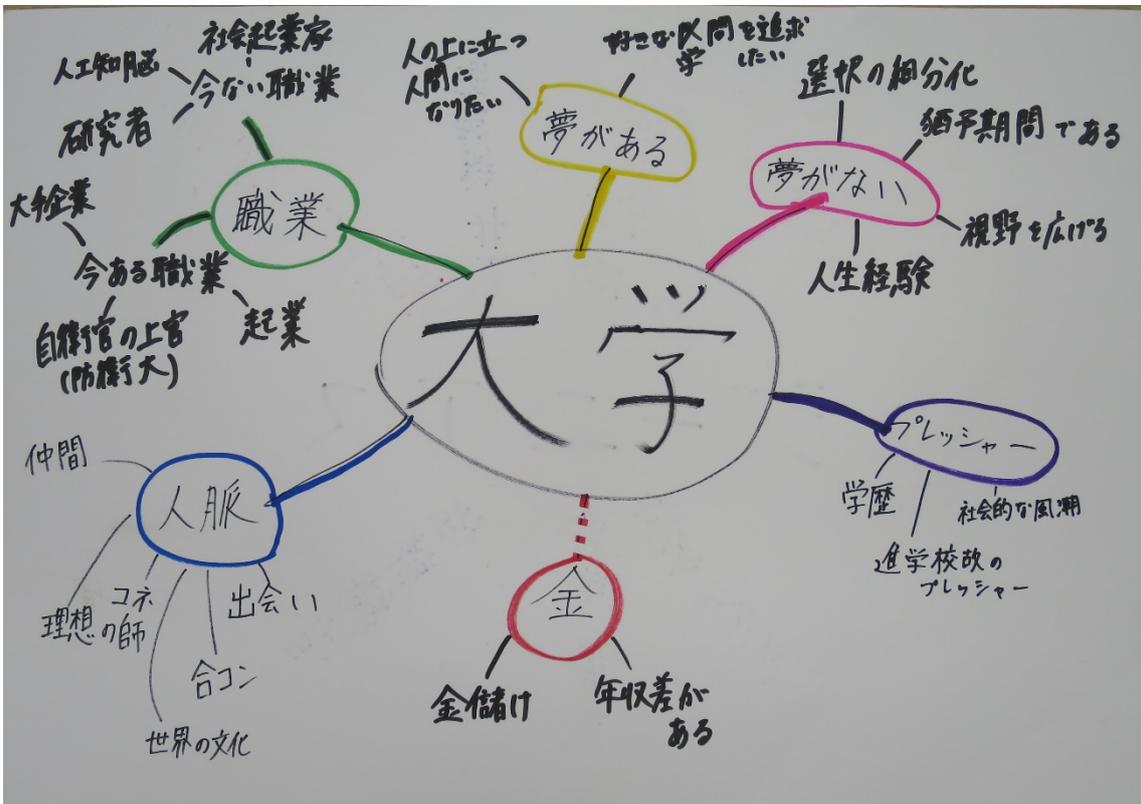
1. フルーツ JAM チーム



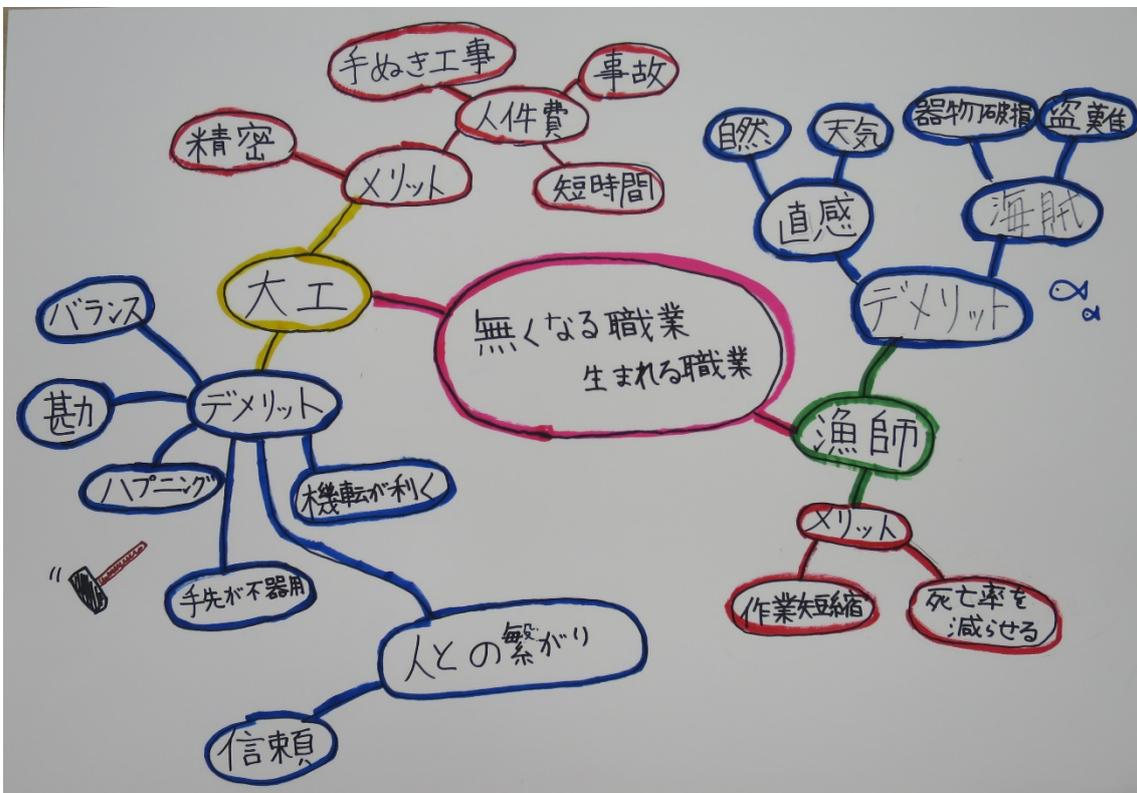
2. ちゃんかわ I チーム



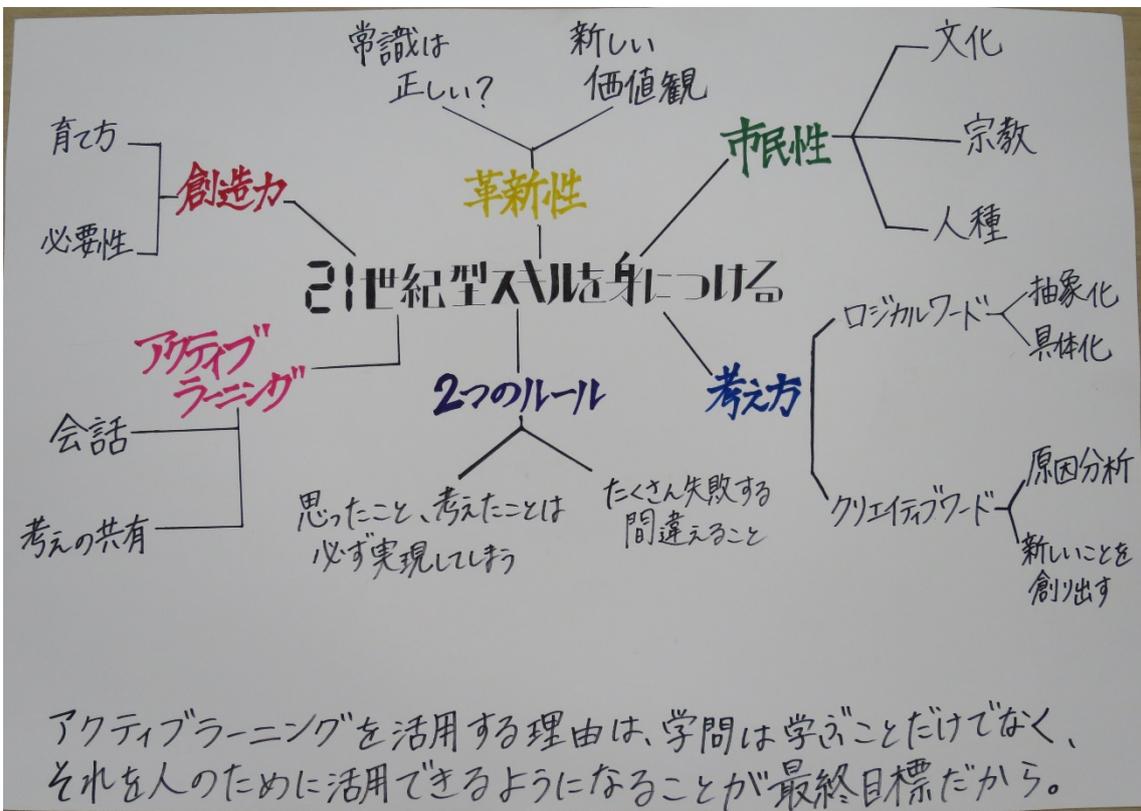
4. ジーニアス チーム



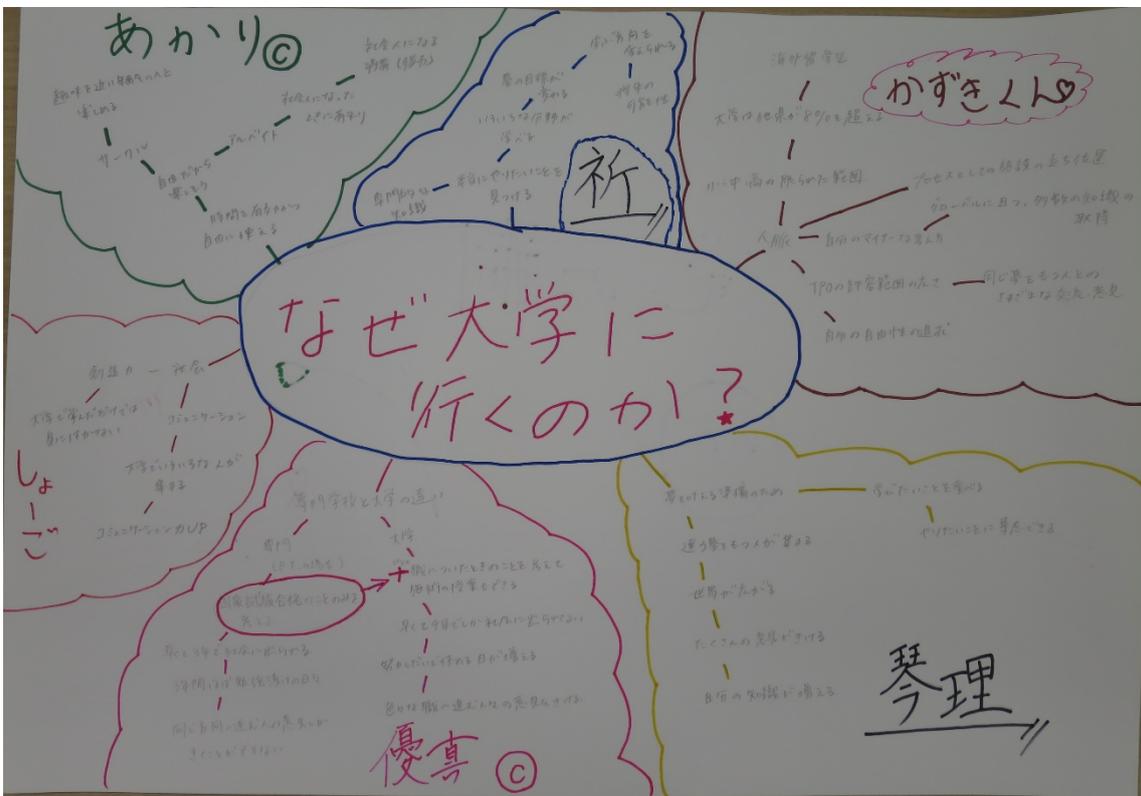
5. finding blight future チーム



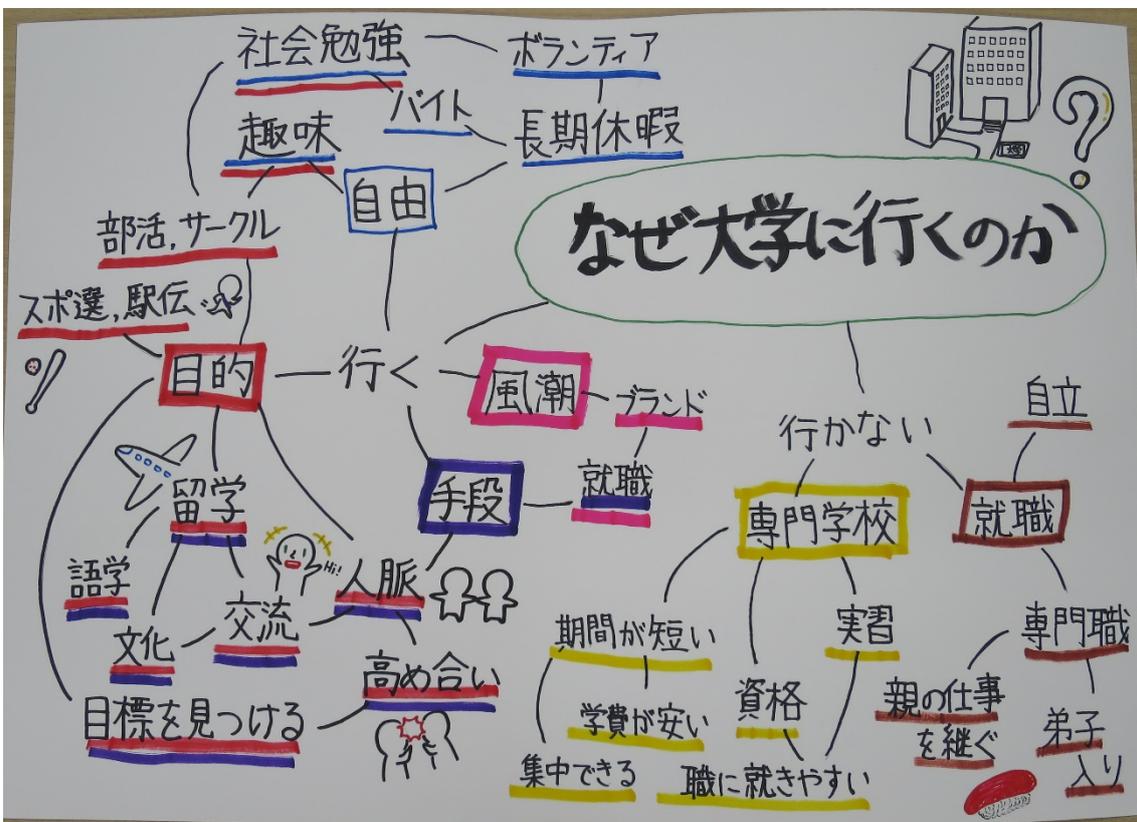
6. EGAO チーム



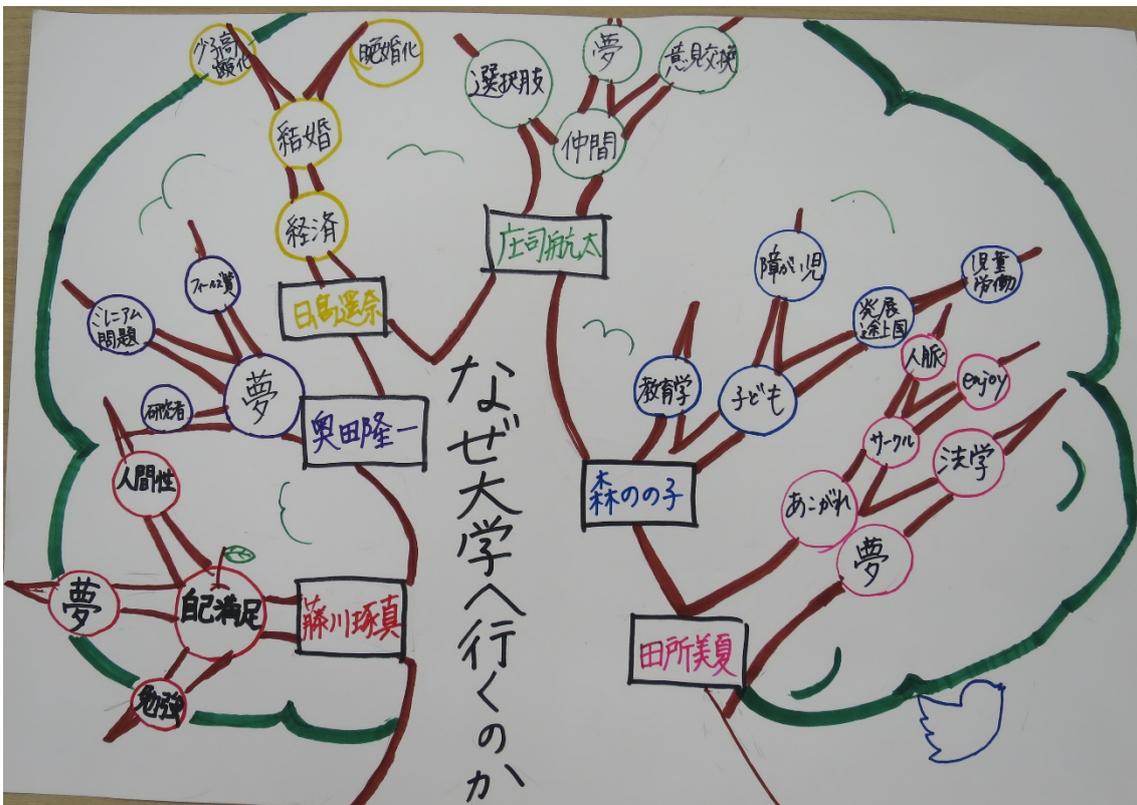
7. Doors チーム



9. BGM チーム



10. アモーレ A'Z チーム



各種イベント



入塾式：坂本板橋区長



入塾式：下垣塾長



グループディスカッション



マインドマップ



朝の体操



懇親会



卒塾式：中川板橋区教育長



卒塾式：卒塾証書授与

卒塾生レポート

明法高校 チームE 福田 悠貴

最初親からこのきらめき未来塾の話聞いた時、正直行きたくないなーと思っていました。

ですが、実際には行ってみると様々な良い経験をする事ができて、行って良かったと思います。その中でも特に印象に残ったことを書きたいと思います。

一つ目は、吉藤さんの講義です。吉藤さんは不登校だったという経験から孤独の辛さを知り、オリヒメ（分身ロボット）を開発したとのことでした。

この講義で学んだことは人は存在することに意味があり、存在感を感じることに意味があるということです。番田さん（交通事故に遭い病院で寝たきりの方）がオリヒメを通して喋って下さった時、まるで番田さんが近くにいるかのように存在感を感じました。体を動かすことのできない人でも意思疎通ができて、とても素晴らしいアイデアだと思いました。自分の思ったこと、感じたことから多くの人を助けるアイデアを出してオリヒメを発明して、科学者ってすごい職業だなと思いました。

二つ目は、多くの講師の方々が言っていた「今の小学生が就業する頃には今の職業の65%は存在していない」ということです。現在はAIなどの技術が急速に進んでいて様々な仕事をAIがすれば良くなり、また、新しい職業も生まれると考えられます。その中で生きていくために21世紀型スキルがカギとなってくるでしょう。人間ならではの創造力やコミュニケーション能力などが求められ、それを必要とする職業が残っていくと思います。リバネスの丸さんは科学者という職業は絶対なくなると言っていました。それは、

AIにはない創造力などが必要だからです。また、この未来の職業についての考察をチームのみんなや他の人と話し合うことで価値観や考えを共有し、自分に今までなかった視野を広げることができました。

きらめき未来塾に参加したことで様々な経験ができ、学ぶことができました。全国から集まった初対面の人たちとチームになって意見をまとめたり、ワールドカフェで意見を共有したりして、人それぞれの意見、考え方があるということが改めてよく分かりました。

学校ではできない体験、講義を聴き、話し合う、チームで意見をまとめて発表するなど、素晴らしい経験ができたと思います。

きらめき未来塾で得た経験、友達との思い出は、今後の人生の糧となりました。講師の方々、関係者の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。来年も行きたいです！

私はきらめき未来塾で過ごした4日間で、本当に多くのことを学ばせていただき、良い刺激を受けました。

まず、講義では3つのことを学びました。

1つ目は失敗を恐れないことです。講師の方々のほとんどは失敗を経験されていましたが、みなさん諦めず自分のしたいことを実現させるんだという信念をもって、物事に挑戦していらっしやっただのが印象的でした。そして失敗は悪いことではなく、自分自身を成長させてくれ、前に進めさせてくれるものだとなりました。私は失敗したら諦めるタイプでしたが、それはとても無意味なことだと感じました。

2つ目は仲間の大切さです。事業を成功させている講師の方々には必ず仲間がいました。自分を応援してくれ、協力してくれる仲間は社会で活躍するにおいて、必要不可欠だとわかりました。

3つ目は現実を目で見て体験することの重要性です。課題を解決するためには実際に現場に行き、体感することが大切だと講師の方がおっしゃっていました。確かに原爆ドームや資料館を見に行くと戦争は絶対にあってはならないものだとわかるし、震災のあった現場に行くと、とても他人事のように感じられなくなります。そのことと同じように解決したい課題がある場合は、実際に見て聞いて体感することが必要なのだと感じました。

他にも、海外から見た日本のメディアの質や歌舞伎の良さ、理解と定着の違いなど多くのことを学ばせていただきました。

次にチームでの活動で学んだことについてです。

初日は全員初対面で緊張していましたが、チームミーティングや講義についての意見交換などをしていくうちに打ち解けられるようになっていきました。

チームには自分の意見をしっかりもっていたり、夢があってそれに向かって努力している人がいたり、驚くことの連続でした。意見交換の場では、私も負けていられないと思い、積極的に発言しました。あんなに真剣に意見を言い合う経験は初めてだったのですが、自分とは違う価値観の人もいたりして本当に楽しかったし、勉強になりました。学校でもこのような時間があればなと思いました。

チーム以外の人とも話していると、様々なボランティアに参加していたり、自分の意見をはっきり言えたり、自分と同じような悩みをもっていたりと本当にいろんな人がいて、とても良い刺激を受けました。そして私も地域のボランティア活動に参加してみようと考えようになりました。それに学校ではあまりしないような政治の話をすることができたのもよい経験になりました。

きらめき未来塾で様々な人に出会い、自分もいろんなことに前向きに挑戦していこうと思いました。途中で心が折れそうになったりしたときは、未来塾のことを思い出します。そしてたくさんを経験して学び、自分のやりたいことや夢をみつけていきたいです。

未来塾の4日間は、一生忘れないし、私の人生の大きな支えになると思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

後援・協賛のお礼

1. 「きらめき未来塾 2016」の開催にあたり、新たに後援していただいた団体名は以下の通りです。

書面をお借りしてお礼申し上げます。

- ・ 東京都教育委員会
- ・ 一般社団法人東京私立中学高等学校協会
- ・ 板橋区教育委員会
- ・ 公益社団法人日本医師会
- ・ 一般社団法人公益資本主義推進協議会
- ・ 板橋区青少年健全育成地区委員会連合
- ・ 板橋大竹塾

また、昨年同様、引き続き後援いただいている団体名は、以下のとおりです。

- ・ 大阪府教育委員会
- ・ 兵庫県教育委員会
- ・ 京都府教育委員会
- ・ 広島県教育委員会
- ・ 香川県教育委員会
- ・ 宮城県教育委員会
- ・ 愛知県教育委員会
- ・ 洲本市教育委員会
- ・ 飛騨市教育委員会
- ・ 登米市教育委員会
- ・ 京都市教育委員会
- ・ 日本私立中学高等学校連合会
- ・ 大阪私立中学高等学校連合会
- ・ 兵庫県私立中学高等学校連合会
- ・ 京都府私立中学高等学校連合会
- ・ 洲本市
- ・ 飛騨市
- ・ 登米市
- ・ 淡路信用金庫
- ・ 洲本商工会議所
- ・ 一般社団法人淡路青年会議所
- ・ 産業経済新聞社
- ・ ホテルニューアワジ

2. その他、多くの企業、団体や個人の方々からご寄付、協賛をいただきました。本件につきましては、別途ご報告する予定です。

きらめき未来塾役員

役 職	氏名	略 歴
名 誉 理 事 長	齋藤 洋一	神戸大学名誉教授 社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会 副会長
理 事 長	水野 彌一	京都大学アメリカンフットボール部 OB 会 会長
理事（名誉塾長）	大竹 美喜	AFLAC 創業者
理 事（塾長）	下垣 真希	ソプラノ歌手 名城大学大学院多文化共生論講師
理 事	前田 嘉昭	大阪教育大学講師。大阪府立阿倍野高校 元校長
理 事	若原 康正	緑風観光株式会社 代表取締役社長
理 事	鈴木 規夫	プロゴルファー 日本ゴルフツアー機構 常任理事
理 事	山田 庸男	梅ヶ枝中央法律事務所
理 事	田中 千代美	株式会社千雅 代表取締役会長
理 事	竹岡 和彦	株式会社日豊社 代表取締役
理 事	葭 範夫	株式会社ディヴォーション 代表取締役
理 事	小田 全宏	株式会社ルネッサンス・ユニバーシティ 代表取締役
監 事	植田 寛重	植田寛重税理士事務所 税理士
特 別 顧 問	濱本 英輔	株式会社ロッテ 顧問
特 別 顧 問	坪井 一字	元参議院議員
特 別 顧 問	松岡 大藏	税理士 大阪国税局元徴収部長 桜美会会長
特 別 顧 問	瀧川 好美	淡路信用金庫 会長
特 別 顧 問	木下 紘一	洲本商工会議所 会頭

事務局

事務総長	織田 善行
事務局長（東京）	鍋島 雅代
事務局長（大阪）	大上 義光
事務局員	岩崎 格大
事務局員	長沼 三郎
事務局員	三村 悦久
サポーター指導員	宮原 あけみ
サポーター指導員	櫻井 宇多

サポーター

サポーター	盛一 季美香（日本大学芸術学部演劇学科 4 年）
サポーター	吉岡 奏恵（関西学院大学法学部法律学科 4 回生）
サポーター	山内 美貴（岡山理科大学理学部応用数学科 4 回生）
サポーター	川本 竜嗣（関西学院大学総合政策学部 1 回生）
サポーター	高橋 由美子（都立高校教諭）
サポーター	塩田 澄子（国際教養大学グローバルビジネス課程 2 年）
サポーター	村岡 薫（株式会社 R C C 文化センター）
サポーター	風間 涼太（大東文化大学 4 年）
サポーター	黒川 智絵（東京音楽大学音楽学部ピアノ専攻 4 年）
サポーター	加納 明星（上智大学文学部ドイツ文学科 4 年）



きらめき未来塾 事務局

東京事務局 〒164-0001
東京都中野区中野 5-4-7 (中野区温暖化対策推進オフィス)
TEL : 03-6454-0945 FAX : 03-6454-0114

大阪事務局 〒530-0044
大阪市北区東天満 1-12-13 I A G天満ビル 5階
TEL : 06-6357-3335 FAX : 06-6357-3354

Mail : info@kiramekimiraijuku.jp
URL : <http://kiramekimiraijuku.jp/>